

マイストーリーを作ろう！

『おはなしをつくろう』(1年) 『不思議な世界へ出かけよう』(5年)

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力

1 児童観

本学級は、1年女子1名(A児)、5年男子1名(B児)の計2名の自閉症・情緒障害特別支援学級である。

学力に関する実態

- ・ A児は、学年相応の学力を有している。行動はゆっくりだが、指示をしっかりと聞き、活動に取り組むことができる。すらすら音読したり、板書を正しく書き写したりできる。しかし集中が切れると音読や文字の書き取りなど雑になることがある。初めてやることに対して消極的になることがある。
- ・ B児は、語彙が少なく単語、2語文で話すことが多い。漢字の書き取りが苦手。1学期は学習内容と並行して3年生の漢字の復習を行った。初めて読む文章はつかえながら読むが、何度も練習することで読むことができる。1学期は詩や俳句を6つ覚え、暗唱することができた。

資質・能力に関する実態

本学級の児童は、初めてのことや大勢の前で活動する際に緊張しやすい傾向にある。A児は叙述を正確に捉えることができるが、叙述から想像を広げたり、自分の思いを自由に話したりすることに課題がある。B児は自分の気持ちや状況を分かりやすく説明することが困難である。「いい」「悪い」「すごい」「楽しい」など思いや考えを表すことができるが、根拠を示したり、詳しく説明したりすることに課題がある。また言語指示が長くなると理解できなくなり、教師が傍で支援する必要がある。

2 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領第1学年及び第2学年の「B書くこと」、第5学年及び第6学年の「B書くこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

B(1)イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

B(1)イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

(1) 単元観

○A児

本単元では、登場人物の設定と行動を考えて簡単な物語を書くことを目標として、物語を書く活動を行う。誰がどんなことをするのか、想像したことが分かるように、事柄の順序に沿って構成を考える力を身に付けさせる。本単元の前に「むかしばなしをたのしもう」の学習をし、物語に親しみ、活動ができるようにするとともに、メモをとる方法を身に付けさせ、他の学習に生かせる単元配列になっている。

○B児

本単元では、文章全体の構成を考え様子や気持ちが伝わるように物語を書くことを目標として、物語を書く活動を行う。絵から想像を広げ、登場人物や出来事を考えさせることで、文章全体の構成を意識して書かせ、想像したことを明確に表現する力をつけていく。

(2) 指導観

たんぽぽ学級の友達に読み聞かせをするという目標を設定することで、児童が意欲的に物語作りに取り組めるようにする。物語の内容を考えさせる場面では、登場人物の設定や心情、場面の様子をメモに書かせ、考えさせるようにする。児童が書いたメモを操作させることで物語が作れるようにし、話の構成を視覚的に捉えて考えられるようにする。

また、書いた物語をお互いに読み合い、アドバイスをさせることで児童がより良い表現に気付いて行けるようにする。並行して、教科書の物語文を読ませたり、学級文庫等で児童が様々な物語にふれることができる環境を設定したりすることで、児童の語彙力や表現力を高める。語彙や表現方法を習得する時間を意図的に設定し、物語作りに生かしていく。

A児は主に昔話を多読させ、物語の出来事の順序を確認させたり、登場人物の特徴をまとめさせたりすることで、自分の物語作りに活用させる。B児は既習の「注文の多い料理店」、「白い帽子」などの作品を読ませ、現実世界と不思議な世界との関連や場面の移り変わりに気付かせることで、表現の仕方を工夫させていく。

(3) 単元でめざす児童像

○A児

- ・読書に親しみ、楽しみながら物語を創作する (国語への関心・意欲・態度)
- ・想像したことを明確に表せるように、順序に沿った文章構成を考えている。 (書くこと)

○B児

- ・読書に親しみ、進んで物語を創作する。 (国語への関心・意欲・態度)
- ・構成を生かして、想像した登場人物の気持ちや場面の様子を明確に表現する。 (書くこと)

3 単元の評価規準

○A児

	国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
評価規準	物語作りに興味をもち、楽しみながら想像豊かに書こうとしている。 友達の作品を読み合い、作品の良さを伝え合っている。	想像したことをもとに、登場人物の特徴や出来事を決め、事柄の順序に沿って話の筋を考えている。	主語と述語の関係に気を付けて、誰が何をするのか分かるように書いている。

○B児

	国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
評価規準	想像したことをもとに、進んで物語を書こうとしている。 友だちの作品を読み合い、作品の良さを伝え合っている。	自分の想像したことや経験したことを思い返し、書くことを決め、お話のメモを書いている。 話の構成を理解し、場面のできごとを関連させて物語を書いている。 既習の物語から優れた叙述を振り返り、表現を工夫して物語を書いている。	文章にはいろいろな構成があることを理解し、物語を書いている。

4 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

○A児・・・本単元において、物語の登場人物やあらすじなどの設定を考える活動を通して、創造的に思考し表現する力や、感情や想像を言葉で表現したりする力を育成できると考えられる。

○B児・・・本単元において、「現実の世界」「不思議の世界」「現実の世界」といった構成を意識して物語を書かせ、意図的にそれぞれの場面のつながりや関わりを考えさせることで、自分の表現に生かす力が育成できると考える。

5 指導計画（全9時間）

○A児

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	<p>課題の設定</p> <p>オリジナル物語の朗読会を行うという学習課題を確かめる。(1)</p> <p>【本質的な問い】想像を広げながらお話を書くにはどうすればいいのだろう。</p> <p>【学習課題】オリジナルの物語を書き、朗読会を行おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に興味をもち、これからの学習の進め方を考え、意欲的に取り組もうとしている。 【関・意・態】(行動観察) 	<p>話の内容を創造的に思考している。 【思考力・表現力】(行動観察)</p> <p>想像したことを言葉で表現し、文章の構成を考えている。 【思考力・表現力】(ワークシート)</p>
二	<p>情報の収集 整理・分析</p> <p>メモ例や文例をもとに、物語の作り方を理解し、人物の行動や様子をメモに書く。 中心となる人物や、話の展開について想像を広げ、物語の構成を考える。(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像したことを手掛かりにして、物語の人物や出来事を決めている。 【書く】(行動観察・発言) お話のメモをもとに、事柄の順序に沿って物語の筋を考えている。 【書く】(行動観察・メモ) 	
三	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>メモをもとに中心人物の行動や、様子を時間的な順序に沿ってまとめ、文章を書く。(4) (本時8/9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人物や出来事について想像を膨らませ、物語を書いている。【書く】(物語) 主語と述語の関係に気を付けて正しく文章を書いている。【言語】(物語) 	
四	<p>ふりかえり</p> <p>完成した物語を読み合い、友達と感想を伝え合う。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 書いた物語を読み合い、お互いの物語のよい所を伝え合っている。 【関・意・態】(行動観察) 	

○B児

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	<p>課題の設定</p> <p>オリジナル物語の朗読会を行うという学習課題をつかませる。(1)</p> <p>【本質的な問い】場面のつながりを生かして書くにはどうすればいいのだろう。</p> <p>【学習課題】オリジナルの物語を書き、朗読会を行おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を知り、想像したことをもとに進んで物語を書こうとしている。 【関・意・態】(行動観察) 	<p>文章の構成を意識して、物語を書いている。 【思考力・表現力】(ワークシート)</p> <p>場面のつながりやしなげを意識して書き、自分の表現に生かしている。 【思考力・表現力】(行動観察)</p>
二	<p>情報の収集 整理・分析</p> <p>物語の「時」「場所」「人物」や出来事、あらすじを考え、筋道の通った構成でメモに整理する。(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の想像したことや経験したことと合わせて書くことを決めて、メモを書いている。 【書く】(ワークシート) 	
三	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>メモをもとに文章を書く。 物語の筋道が通っているか、場面の様子や登場人物の気持ちが伝わる表現になっているか、文章を推敲する。(4) (本時8/9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習の表現を生かし、話の構成を理解し、場面のできごとを関連させて物語を書いている。 【書く】(行動観察) 物語の構成の工夫による効果を理解し、筋道の通った物語を書いている。 【言】(物語・行動観察) 	
四	<p>ふりかえり</p> <p>完成した物語を読み合い、友達と感想を伝え合う。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 書いた物語を読み合い、お互いの物語のよい所を伝え合っている。 【関・意・態】(行動観察) 	

6 本時の展開 (8/9)

(1) 本時の目標

- A児 正しい順序で、物語を書くことができる。
 B児 場面の構成に気を付けて、物語を書くことができる。

(2) 観点別評価規準

- A児 想像をふくらませ、事柄の順序に沿って話を書いている。【書くこと】
 B児 話の構成を理解し、場面のできごとを関連させて物語を書いている。【書くこと】

(3) 学習の展開

学習内容	指導上の留意点 (・) と支援 (◆)		評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○)
	A児	B児	
1 前時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の物語を音読させ、本時の活動への意欲を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の物語を音読させ、本時の活動への意欲を向上させる。 	
2 本時の流れと課題の確認をする。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">文章メモを使って、物語の続きを書こう。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 物語のできごとを詳しく考えて、お話の続きを書こう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 人物の特徴を想像させたり、場の様子を詳しく説明させたりし、児童が出来事をつなげて物語を書けるようにする。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 不思議な世界での出来事を整理し、現実の世界と関連させた文章を書こう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ メモを整理させることで、夢の世界での話と現実の世界での話がつながるように物語を書けるようにする。 ・ 不思議な世界に行った痕跡が残るように文章を書かせる。 ◆ 既習の表現を振り返らせ、表現に生かせるようにする。 	
3 物語を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 早く書けた児童から音読させ、文章表現が合っているか確かめたり、直させたりする。 		
4 書いた物語を読み、意見を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お話の良い点はどこか考えながら聞かせ、児童同士でアドバイスができるようにする。 ・ 意見交流が難しい場合は、繰り返し物語を読ませ、推敲させたり、発表会のための音読練習をさせたりする。 		
5 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標が達成できたか分かるようにそれぞれのワークシートで自己評価させる。 		

A児

- 正しい順序で物語を書いたり、想像をふくらませながら物語を書いたりしている。
【書く】 (行動観察)

B児

- 話の構成を理解し、場面の出来事がつながるように物語を書いている。
【書く】 (行動観察)